

古代から中世、会津はどんなだったでしょう。

646(大化二年) 国郡の制定まる

道(奥国)設置。後に陸奥と改む。

718(養老二年) 陸奥国 石城、石背に国分置く。(後廃止)

会津郡は石背国に属す。

806(大同元年) 磐梯山大噴火

— この頃より徳一大師会津に —

807(大同二年) 恵日寺、勝常寺、柳津円蔵寺創建

(815(弘仁六年) 会津徳一への空海の手紙

817~821(弘仁十一年) 最澄と徳一との三権実論争
(天台一乗説) (法相宗三乗)

840(承和元年) までに会津郡から耶麻郡分立

磐梯山信仰を元に神仏習合による仏教が活性化

塔寺・帷宮、恵日寺、勝常寺による軍事的・政治的支配

1181(治承五年) 横田河原の戦い 木曾義仲(源氏) × 城長茂(平氏)

恵日寺衆徒多数戦死 - 恵日寺支配にかけりか。

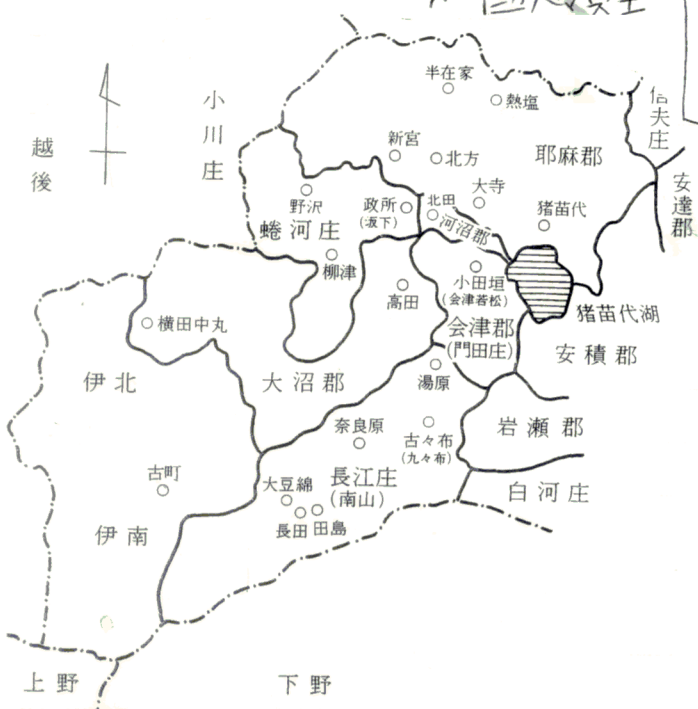
1189(文治五年) 源頼朝奥州合戦勝利、藤原秀衡滅ぶ

佐原義連へ会津四郡支配

★ 国人領主

長沼氏
山内氏
河原田氏

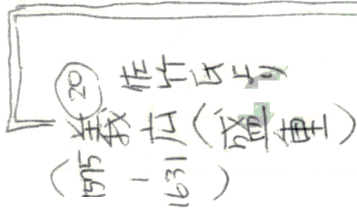
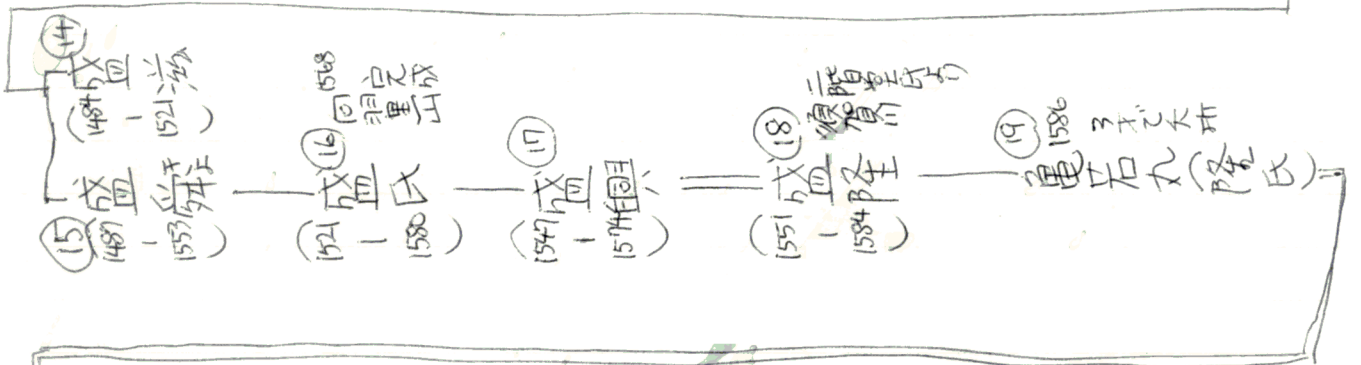
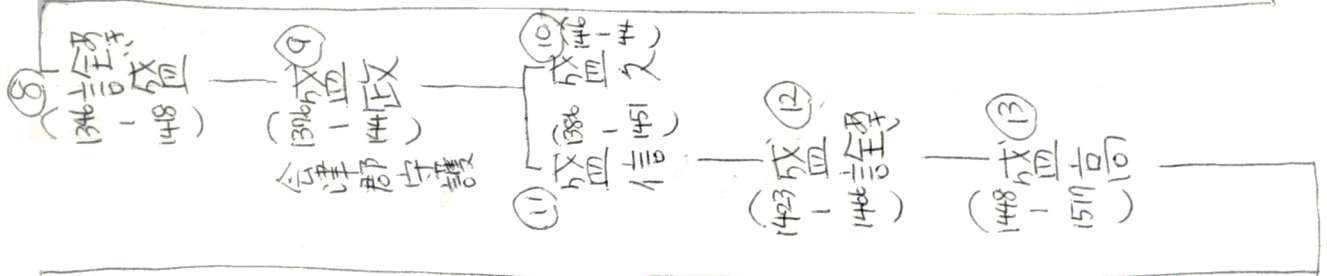
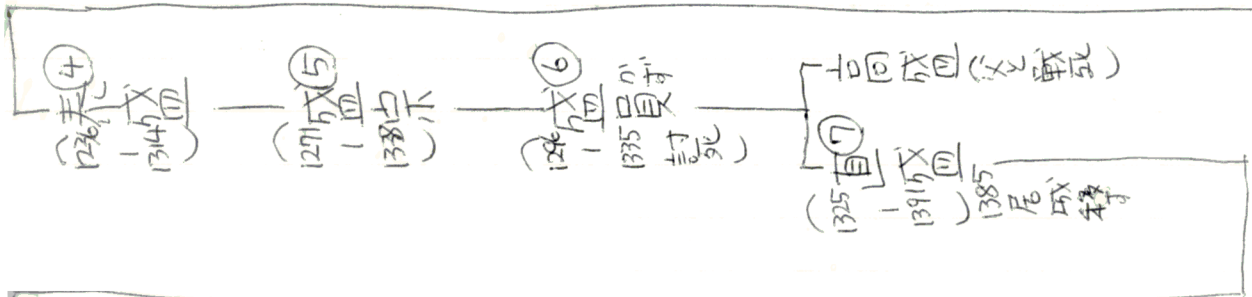
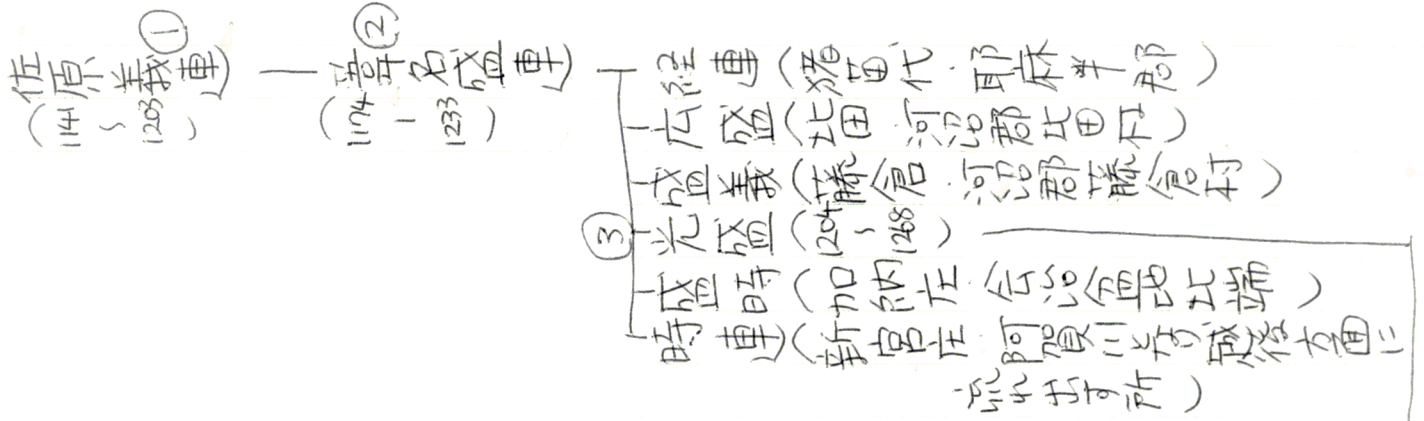
南会津南東部 田島、下郷
会津西部 金山、島只見、西会津、津川
南会津伊南、南郷



[参考文献]

- 菅石氏系譜 菅石一族研究会
- 会津若松市史
- 田島町史
- 会津四家合全
- 会津の城
- 会津史談 75号
- 歴史春秋 30号

甚耳名氏系図



天正十七年(1589)伊達政宗より甚耳名氏亡す